

委員会報告 [基盤整備委員会]



西野 善一 JACR副理事長

金沢医科大学医学部

猿木 信裕	群馬県衛生環境研究所	伊藤 ゆり	大阪医科薬科大学
大木 いずみ	埼玉県立大学	片山 佳代子	群馬大学 情報学部
三上 春夫	千葉県がんセンター	阪口 昌彦	大阪電気通信大学
田淵 健	東京都立駒込病院		

基盤整備委員会は、JACRの活動を今後一層推進していくための基盤整備を目的として発足し、猿木理事長を委員長とする8名の委員で構成されています。

基盤整備において特に重要な課題は財政基盤の安定化です。JACRの収入は、正会員、賛助会員から受け取る会費、寄付金、事業収益から構成されます。令和2年度において事業収益は収入全体の60%強をしめますが、その多く(73%)は事業の委託料です。これらの委託事業は単年度契約であり継続性が見通せないことから委託料以外の収入を増やして財政基盤を安定化させることが重要です。

そのための方策としてJACRではこれまでも正会員、賛助会員の増加に取り組んできました。病院等関連団体の団体正会員、個人正会員、団体賛助会員、個人賛助会員についてそれぞれ会員数の目標を設定して活動を行っていますが、これまでのところいずれも目標には達していない状況です。JACRが行っている院内がん登録の充実に向けた取り組みや、全国がん患者団体連合

会との共同プロジェクトであるJ-CIPの活動の広報をこれまで以上にすすめることにより、院内がん登録を実施している医療機関、院内がん登録実務者、企業、一般市民の方々の入会につなげることが必要と認識しています。これらの会員が増えることは財政基盤の安定化に寄与するだけでなく、JACRの活動に幅広い意見を反映させるという観点からも重要であることから、基盤整備委員会の最優先課題として引き続き取り組みを進めていきます。団体賛助会員の増加に向けた取り組みとして役員が個別の企業を訪問し協力を依頼することを計画していますが、新型コロナウイルス感染症の流行によりこれまで実施を控えてきました。今後、感染の流行が落ち着いた状況が続けば速やかに開始する予定です。また、寄付金の収入は全体の約5%にとどまっていますが、JACRの活動内容とともに認定NPO法人への寄付として税制優遇が受けられる利点をアピールする方策を本委員会でも検討し寄付金の増加につなげていきたいと考えます。

会員の皆様には本委員会の活動へのご理解とご協力を賜れば幸いです。

私たちの活動にご協力ください

賛助会員(個人・団体)を随時募集しています

賛助会員

個人…年間 3,000円
団体1口…年間 50,000円
(1口以上)

○寄付金も受け付けています

<https://jacr.secure.force.com/>

○入会のお申込みや寄付等のお問い合わせは
ウェブサイトの「お問合せ」よりお知らせください

<http://www.jacr.info/>

主な事業内容

がん登録に関する学術集会、セミナー等の開催
がん登録に関する様々な情報の提供
がん統計、がん登録に関する調査や研究の実施
国際がん登録協議会(IACR)への参加・協力
がん登録に携わる人材の育成やサポート
がん登録室の安全管理措置に関する活動
がん登録の広報媒体、冊子、教材、資料等の発行